



飯綱町 議会だより

発行日
令和7年7月31日

6月定例会の情報をお伝えします

発行／長野県飯綱町議会

VOL.
79



定例会	2
一般質問	5
あの時のあの質問どうなった	14
新しい町づくりへ 私の提案	15



定例会

陳情

6月定例会は、2日から20日までの19日間の会期で開催された。条例3件、補正予算3件、契約4件、その他1件を原案どおり可決し、陳情3件のうち1件を採択、2件を不採択とした。
一般質問には、5人が立ち、町政を質した。

物価高対策で 水道料金基本料を2か月分減免



▲保育料を軽減して「特別利用保育」を

条例

保育所条例の一部を改正
する条例（議案第58号）
—可決—

「保育を必要とする理由」に該当しない場合に保育園を利用するには、「私的契約」を結び保育料を納める。「特別利用保育」の適用により、保育料の軽減が見込まれるための改正。

いづな歴史ふれあい館
条例の一部を改正する条
例（同第59号）
—可決—

年末年始の休館日を教育
委員会管理の他施設との整
合性を図るための改正。



▲リニューアルしたいいづな歴史ふれあい館

補正予算

令和7年度一般会計補正
予算（第1号）（同第61
号）
—可決—

既定予算の1億1130万
円を増額して総額を95億
9130万円とした。

主な歳入
・国庫支出金

寄附金 7501万円
繰入金 1000万円
繰入金 2000万円
町債 480万円

主な歳出

町政施行20周年記念事業 582万円

低額減税しきれないと見
込まれる所得水準の方へ
の給付 6125万円

農業振興負担金補助金 500万円

地域農業担い手育成・支
援事業 1000万円

アスリート講師委託料 1000万円

令和7年度一般会計補正
予算（第2号）（同第63
号）
—可決—

既定予算に1269万
円を増額して総額を96億
400万円とした。

主な歳入

国庫支出金 765万円

繰入金 5000万円

主な歳出

6、7月使用分月請求分
の水道料金の基本料相当
分を減免 1330万円

陳情

高額療養費の自己負担上
限額の引き上げをしない
ことを求める陳情（陳情
第4号）
—採択—

陳情者

長野地区社会保障推進協
議会
会長 菅田 敏夫

令和7年度政府予算案に
は、高額療養費の自己負担
上限額を8月から段階的に
引き上げる「見直し」が盛
り込まれたが、がん患者団
体や国民の声を受けて、今
年秋までに改めて方針を検
討すると表明した。

今後も高額療養費の自己
負担上限額の引き上げを行
わないことを求めている。



陳情

第2回臨時会

適格請求書等保存方式
(インボイス制度) 廃止の
意見書提出についての陳
情(同第5号) — 不採択

陳情者

消費税廃止長野連絡会

代表 竹内 茂

令和5年10月から複数税率に対応した仕入れ税額控除の方式として適格請求書等保存方式(インボイス制度)が導入された。制度導入後、地域社会や住民の暮らしに大きな打撃を与えているため、廃止の意見書を政府に提出することを求めている。

賛成討論

渡邊 千賀雄

国がインボイスを設けた理由は、食料品などに軽減税率を導入し、複数税率になったことだ。フリーランスや中小企業、零細事業者にとってインボイス導入は、事務負担や納税義務の増加を招き経営を圧迫している。

反対討論

樋口 功

インボイス制度は、複数税率を採用している限り税の保全上必要な制度。免税事業者から課税事業者になっても消費税相当分を取引先から受け取っており、新たに負担が発生するものではない。陳情には不適切。

中島 和子

複数税率の下で、適正な課税を行うためには必要な制度。免税事業者から課税事業者になった場合、軽減措置として消費税率を売り上げの2割とする特例が設定されている。

消費税率の恒常的かつ大幅な引き下げを求める陳情(同第6号) — 不採択

陳情者

消費税廃止長野連絡会

代表 竹内 茂

円安によって輸出大企業のように史上最高益が出る一方、中小企業と国民生活は、物価高騰・実質賃金(所得)の低下、消費税の負担増に苦しめられているため、消費税率の恒常的かつ大幅な引き下げを求めている。

賛成討論

渡邊 千賀雄

食料品や衣類などの価格が上がっている今、すべてに係り、逆進性の高い消費税を引下げることが最も効果的な暮らし支援になる。各種の世論調査でも国民の68%が物価高対策として消費税減税を求めている。

第2回臨時会

7月15日

補正予算

令和7年度飯綱町一般会計補正予算(第3号)(議案第69号) — 可決

既定予算に1000万円を増額して、総額を96億1400万円とした。

主な歳入

・企業版ふるさと納税応援寄付金 1000万円

主な歳出

・中学生のデジタルを活用した魅力発信プロジェクト 1000万円

工事請負契約の締結について2件(同第70号及び71号) — 可決

・飯綱町立小学校空調施設設置及び断熱性確保工事

牟礼小学校

契約方法 一般競争入札

契約金額

1億2540万円(税込)

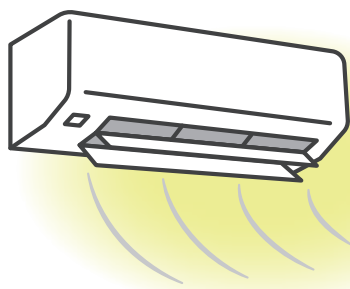
・飯綱町立小学校空調施設設置及び断熱性確保工事

三水小学校

契約方法 随意契約

契約金額

1億2540万円(税込)



令和 7 年 6 月定例会賛否一覧 (○賛成 ●反対)

種別	議案名	表決結果	三ツ井忠義	中井寿一	小林文廣	瀧野良枝	渡邊千賀雄	中島和子	樋口功	風間行男	目須田修	石川信雄	清水満	大川憲明	伊藤まゆみ	原田幸長	青山弘
議案第56号	令和6年度飯綱町国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)の専決処分の承認について	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第57号	令和6年度飯綱町後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)の専決処分の承認について	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	—
議案第58号	飯綱町保育所条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第59号	いづな歴史ふれあい館条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第60号	飯綱町保健補導員設置条例を廃止する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第61号	令和7年度飯綱町一般会計補正予算(第1号)	可決	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第62号	物品購入契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第63号	令和7年度飯綱町一般会計補正予算(第2号)	可決	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第64号	令和7年度飯綱町水道事業会計補正予算(第1号)	可決	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第65号	工事変更請負契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第66号	物品購入契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第67号	物品購入契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第68号	物品購入契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	小林文廣議員の議会報編集調査特別委員会委員の辞任	不許可	●	○	除斥	●	●	●	●	○	○	○	●	○	○	●	—
陳情第4号	高額療養費の自己負担上限額の引き上げをしないことを求める陳情	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
陳情第5号	適格請求書等保存方式(インボイス制度)廃止の意見書提出についての陳情	不採択	○	●	●	●	○	●	●	●	○	●	○	○	○	●	—
陳情第6号	消費税率の恒常的かつ大幅な引き下げを求める陳情	不採択	○	●	●	●	○	●	●	●	○	●	●	○	○	●	—
発議第8号	高額療養費の自己負担上限額の引き上げをしないことを求める意見書案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

賛否表

令和 7 年第 2 回臨時会賛否一覧 (○賛成 ●反対)

種別	議案名	表決結果	三ツ井忠義	中井寿一	小林文廣	瀧野良枝	渡邊千賀雄	中島和子	樋口功	風間行男	目須田修	石川信雄	清水満	大川憲明	伊藤まゆみ	原田幸長	青山弘
議案第69号	令和7年度飯綱町一般会計補正予算(第3号)	可決	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第70号	工事請負契約の締結について	可決	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第71号	工事請負契約の締結について	可決	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

訂正

議会だより Vol.77 の賛否一覧に間違いがありました。正しくは以下の表の通りです。

令和6年度 11月飯綱町議会臨時会 議案一覧および各議員の賛否結果 (○賛成 ●反対 ▼棄権)

議案名	表決結果	三ツ井忠義	中井寿一	小林文廣	瀧野良枝	渡邊千賀雄	中島和子	樋口功	風間行男	目須田修	石川信雄	清水満	大川憲明	伊藤まゆみ	原田幸長	青山弘
議案第72号 飯綱町特別職の職員で常勤の者の給料月額の減額に関する条例	認定	○	●	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	—

一般質問

町制20周年の振り返りは

樋口 功ひぐち いさお

6ページ

・ 本年は町制施行20周年に当たるが、現在の町の状況をどのように評価しているか。
また、今後、どのような町づくりをしていくか。

渡邊 千賀雄わたなべ ちかお

7ページ

・ ふるさと納税の返礼品は
・ 公共交通の確保、充実に
・ 牟礼駅周辺整備・発展計画は

中井 寿一なかい ひさかず

8ページ

・ 中学校の部活動地域移行は

石川 信雄いしかわ のぶお

9ページ

・ 公共施設等総合管理計画等は
・ 飯綱病院の総合利用は

伊藤 まゆみいとう

10ページ

・ 保健補導員廃止後の状況は
・ 長野広域連合一般廃棄物最終処分場計画は

・ 一般質問は、議員が町の行政全般にわたり、執行機関に疑問点を質し、所信の表明を求めるものです。
・ 一般質問の詳細については、ホームページ、議事録でご覧になれます。
・ 一般質問の原稿は各議員が責任をもって編集しています。



一般質問



飯綱町議会では、町民の方々の参加を促しています。

一般質問は各議員それぞれが、日頃、問題視していることや、新しい視点での新たな取組の奨励など、多岐にわたって一般質問しています。議会報や動画配信でも情報提供はしていますが、議場での理事者や議員との掛け合いは緊張感もあり、その場ならではの空気感に包まれます。

是非、生の声をお聞きたいですし、感想などをお伝えいたきたいと思っています。双方向での意見交換ができれば、これからの議会活動に活かせるものと思います。

大勢の皆様は議場へ足をお運びいただきますようお願いいたします。皆様のお越しをお待ちしています。

町制施行20周年を迎えた 町の今後は

町長 ▶ 新世代の人が時代に合った行政を



樋口功 議員

合併当時の課題の現状と今後は

樋口 少子・高齢化が進み、

人口減少が課題であったが、

企画課長 令和2年度から

人口増推進室を設置し、移

住者への助成制度等の人口

増政策を展開してきた。令

和6年に合併後初の転入超

過で17人の社会増を達成。

今後も社会増策を継続。

樋口 旧牟礼村の債務超過

等スキー場問題と旧三水村

の上水道水源・施設整備問

題は。

産業観光課長 スキー場は

平成30年にゴルフ場を含め

完全民営化。経営者の下で

東高原リゾート地として活

性化が図られている。



▲進む芋川地籍の土橋水源地工事

一般質問

町長 土橋地区に水質良好な水源が見つかり、深井戸の工事中。令和9年度には、三水地区の全ての地域に供給を予定。

樋口 地域医療の拡充を図る

ことや、安心と健全な病院

経営を二層推進するとしてい

たが。

病院事務局長 地域医療構

想の中で経営強化プランを

確実に遂行し、課題の洗い

出し、医療接遇の質の向上

等を目指すことで、持続可

能な地域医療の体制を構築

していく。

樋口 子育て支援センター

を中心に子供の成長に応じ

た相談体制の充実を図ると

していたが。

教育次長 子育て未来室の

設置等組織の見直しを行う

など、子供や子育て中の親

が住みやすい町になるよう

事業の拡大を行っている。

こども家庭センターの設置

についても検討中。

樋口 農業を取り巻く厳し

い状況を乗り切るため、農

業法人への移行、経営内容

を変更する農業者への支援

体制の確立を目指し、後継

者不足の解消、雇用の確保

を図るとしていたが。

産業観光課長 農業振興全

般にわたり補助金の創設、

拡充等を図ってきた。昨年

度策定した地域計画に基づ

き、農地の保全、維持のた

めの話し合いを進める。

樋口 商工業では集客力の

ある商店街の形成を目指す

としていたが。

産業観光課長 既存の事業

者のほか、創業を志す方や

事業承継の希望者への支援

を充実させていくことは商

工業の振興、商店街の活性

化に大きな一助になると考

えている。

健全財政の視点は

樋口 合併時と現在（令和

5年度）の決算規模を比較

すると歳入、歳出とも30億

円増加しているが。

総務課長 一般財源等の増

加分は約5億円だが、残り

の25億円超は国県支出金な

ど特定財源。主な歳入では、

ふるさと納税などの寄付金

が12億円。主な歳出では、

公益上必要があると認めら

れる団体や個人に対して交

付する補助金や負担金など

の補助費等が12億円。財政

状況の健全化を示す健全化判断比率や資金不足比率は早期健全化基準を下回っており、資金不足も発生しておらず、町の財政状況は健全状態にある。

ふるさと納税返礼品の取扱いに問題はないか

樋口 周辺の自治体で産地

偽装問題等不適切なふるさ

と納税返礼品の取扱いがあ

った旨報道された。県の

調査で当町の取扱いに問題

はなかったか。

総務課長 問題はなかった。

今後とも間違いがないよう中

間事業者と連絡をさらに密

にし、事業者への指導や調

査を厳格化するなど、チエッ

ク体制を充実させていく。

県内ふるさと納税
ランキング(R5年度)

順位	自治体名	ふるさと納税額 (万円)
1	須崎市	392,561
2	中野市	225,208
3	軽井沢町	130,840
4	飯綱町	125,363
5	長野市	119,111

町の今後は

町長 新しい世代の人に時代に合うセンスで、行政を考えていってほしい。

ふるさと納税

返礼品 産地問題への対応は

総務課長 ▶ 厳格なチェック体制をとる



渡邊千賀雄 議員

一般質問



▲返礼品マル特りんごの味と品質を保証する「光センサー」(さみずフルーツセンター)

企画課長 従来のバスから10人乗りの乗り合いタクシー、1台に変更。
宇木バス停から長野駅までは乗り継ぎ利用可

渡邊 長電バスの運行する飯綱町から長野駅を結ぶ牟礼線は、昨年12月から減便され、今年10月をめどに廃止される。これに代わる交通手段の対策・対応を伺う。

長電バス・牟礼線 廃止への対策は

き取り調査、園地調査、誓約書の提出など行っている。厳格なチェック体制をとっていく。
渡邊 りんごの収穫量と質の確保が重要だ。生産者支援策の充実。
産業観光課長 農業機械の補助、栽培講習会、基盤整備等生産性の向上を図る。

牟礼駅周辺 整備・発展計画は
渡邊 栄町交差点が完成し、大型バス等が安全に通行できるようになる。駅周辺を含め、交通の流れが変わり、来客数の増加等の期待が見込めると思うが見解は。
企画課長 即座にはいかないが、しなの鉄道等の連携で活性化も可能。
渡邊 駅周辺地区の発展に、

能。途中、通院や通学には、現状に近い移動が確保できる。
渡邊 代替バスの運行本数は、現行を下回らないようにとしているが約3割減の運行計画となっている。
企画課長 始発、最終は変えず、通院や通学に支障が出ないよう運行計画を進める。



▲長電バス牟礼駅08:36発、長野駅行き(牟礼駅前・ロータリー)

組織を立ち上げるなどは。
企画課長 必要性は感じる。要望が上がれば協力する。
渡邊 地域の町民も構想に期待している。
町長 大々的な工事に発展すると思われる。大事なものは地元の方さん、意見が一致する方向が出てくれば、と思う。

部活動の地域移行は

教育長 ▶ 部活動は既に廃止した



中井寿一 議員

部活動は自然消滅か

中井 陸上部について言えば、長距離の選手2人が、自主的に黒姫の陸上競技場に通っているだけのように見える。陸上競技は、長距離だけでなく、短距離、跳躍系、投擲系など様々の種目があるが。

教育長 部活動は既に廃止され、生徒はそれぞれが希望するクラブ活動をしている。陸上クラブも同様である。

飯綱中学〇〇部 県大会優勝は

中井 飯綱中学〇〇部県大会優勝というのは、もうないのか。

教育長 県大会優勝の為に部活動があったわけではない。

指導者への謝金の 時給500円は

中井 指導者への謝金の補助の時給500円は過少ではないか。中学校の先生が部活を指導していたとき

は、給料の他に町から時給1000円出ていた。ボランティアだからといって、時給500円はおかしくないか。最低でも、最低賃金の時給1000円をだすべきではないか。

教育長 そもそも町は、先生に時給1000円を支払っていない。指導者への謝金は、クラブそれぞれで好きなだけ出せばいい。町は、クラブの方針に聞かない。

部活動廃止ありきは、 国の方針と違っていないか

中井 平成31年の答申や通知によれば、部活動の地域移行は目的ではない。最新の令和7年5月16日にスポーツ庁から出された「地域スポーツ・文化芸術創造と部活動改革に関する実行



「地域スポーツ・文化芸術創造と部活動改革に関する実行会議」最終とりまとめ（概要）

会議」（最終とりまとめ）でも、明確に「将来にわたって生徒が継続的にスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会を確保・充実するのが改革の主目的」と謳っている。部活指導員を雇って、部活動を維持する方法も明記されている。しかし、町

は、地域移行ありきで、部活動を廃止した。町の進め方は、間違っているのではないか。

教育長 そもそも学校は、部活等の活動を維持する義務はない。全国的に部活動は廃止される。



▲部活の消えた飯綱中学校の校庭

公共施設の維持管理は

町長▶ 町総合計画に基づいている



石川信雄 議員

公共施設等総合管理計画等について

石川 老朽化が激しく、これ以上、存続が厳しい物件数は、今現在どのぐらいあるか。

総務課長 162施設のうち、40施設。今年度の除却施設は5施設。

石川 更新費用は1年あたり約13・39億円。現在は6・9億円を当てているが、7・

2億円ほどの不足額がある。それについての町長の見解を。

町長 基本的には、誰かが使用していて、地震で倒れてしまうような状況の施設については、早いうちに何らかの手を打っていかねければならない。

石川 財源不足は、令和33年度までで76億円となっていて。更新費用を当初予算に組み入れるべきでは。

町長 総合

計画に沿って、財政運営でしっかりと計画を立てて、それを年度当初なり決算で議会に説明をして認めてもらった中で進めていくことが、一つの方法だ。

石川 施設等の売却物件はあるか。町長 不動産で抱えて

▲赤塩保育園の後利用は



▲飯綱病院4Fの有効活用

いるのは、別荘地や扇平団地の住宅用地は、すぐにも買ってもらいたい。その他の行政財産については、売るつもりはない。

今後の飯綱病院4階の利用計画は

石川 現状でテナント貸し出しの家賃収入も視野に入れている。病院事務長 施設として現

な対応を心がけ、持続可能な医療体制の構築に努めている。

石川 補正の無い予算編成を願うが。

町長 経営強化プランの中では初めて副町長を中心にした経営チームを結成した。なお、入院における収入も多くなってきた。

状のまま再利用できるという方向で患者さんやご家族の医療相談スペースとしての利用、それから各種委員会カンファレンスでの利用、また倉庫スペースでの利用というところでいきたい。今後も地域のニーズに応じた柔軟

保健補導員廃止後

健康教室開催は

保健福祉課長 ▶ 社協とも連携して推進したい



伊藤まゆみ 議員

一般質問

伊藤 保健補導員により届け回収していた調査票が、プライバシー保護が指摘され各世帯へ郵送され健康管理センターへ返送してもらうようになった。保健補導員による配布、回収していた時と、個別郵送後の回収率に違いはあるか。

保健福祉課長 令和5年度の回収率は65・8%、令和6年度は64・5%でした。保健補導員の回収時にはデータを取っていないが、9割程度と聞いている。

伊藤 調査票は、予防医療の基盤になっていく。どのように勧奨していくか。

保健福祉課長 令和6年度から調査票の未提出者および調査票に未回答であった方に個別のハガキで案内状を郵送して受診への勧奨を行っている。保健師が個別の問い合わせにしているケースもある。

伊藤 人的に担保されているか。

保健福祉課長 新たに保健師2人採用することができたので、育成しながらあたりたい。

伊藤 健康教室の開催状況



はどうか。

保健福祉課長 各地区で開催される生き生きサロンなど社協が主催する事業ともタイアップしながら、実施を推進していきたい。

長野広域連合における最終処分場の計画は

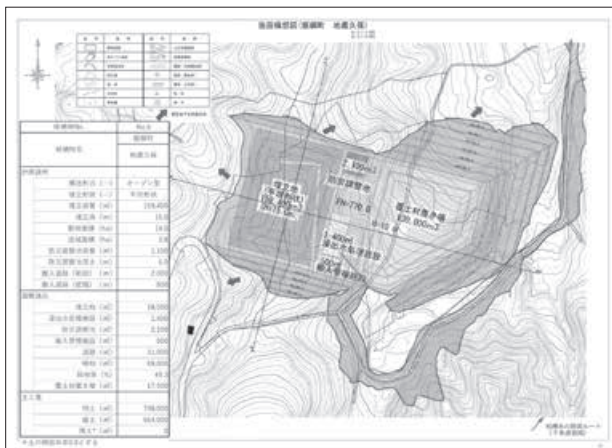
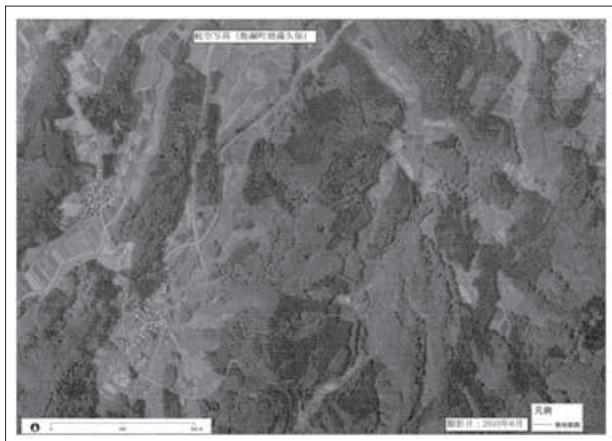
伊藤 2ヶ所の

一般廃棄物最終処分場の候補地に地蔵久保が含まれている。当該地を選定した者とその選定理由は。

住民環境課長 最終的には町が選定した。

長野広域連合から示された候補地を抽出するための

▼候補地（飯綱町地蔵久保）



出典：長野広域連合

物理的条件や法的条件をもとに、適地だと判断した。**伊藤** 飯綱町は、地殻変動によって形成されたすり鉢状の地形を成している。予定地はその尾根の上部で、埋め立てが終わるまで土砂がそのまま積み上げられたままになる。

気象変動が大変大きくなっており、百年に一度という豪雨が起きている上に、先日地震があったので、本当に耐えるのかという不安の声がある。

住民環境課長 飯綱町に、最終処分場を作ること

になったとすれば、そういうこともしつかりと町でも検証した上で進めていきたい。**町長** 環境破壊がゼロというわけにもいかないし、東黒川の皆さんの反対署名の中にもあったが、100%安全だというようなことはない。

十分説明をした上で納得がいけないというようなら、また考えましようということになるのではないか。



2 常任委員会で視察研修を実施

5月開業の小水力発電と土橋の深井戸 (総務産業常任委員会視察)

令和7年6月6日(金)

視察の目的 飯綱町小水力発電施設（芋川用水発電所）の現地見学、土橋水源（深井戸）の工事の進捗状況の把握。

参加人員 中島常任委員長ほか9名（事務局2名含）

視察の内容等

イ 芋川用水発電所の概要

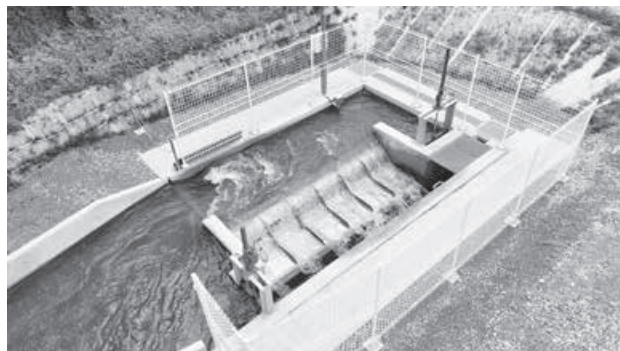
芋川用水トンネルの出口から小水力発電の取水を行い、約10mの落差を利用して発電する方式。

この水力発電所は、信州大学と県内企業が共同研究開発した新型クロスフロー水車を使用している。

また、※¹特殊形状のスクリーンはゴミが溜まると水の力を使って自動で除塵ができる装置も導入している。

ロ 新土橋水源の概要

三水地区の新たな主力水源として「新土橋水源」が整備された。これまでの鳥居川の表流水に代わり、より安定的に供給が可能な深井戸をメインとした水源への移行を目指すもの。令和7年7月から一部地域で供用を開始し、令和9年度中には三水地区全域への供給を予定している。



※1 ▲無動力除塵装置

山ノ内町の「こども基本条例」 制定までの経緯 (福祉文教常任委員会視察)

令和7年6月24日(火)

視察の目的 第6次政策サポータ会議における「こどもまんなか社会」の認識を深めるため、こども基本条例を制定した山ノ内町を視察し、条例化の狙いを研修。

参加人員 瀧野常任委員長ほか7名（事務局2名含）

視察の内容等

▶ 山ノ内町対応者 白鳥金次氏（議会議長）

竹内延彦氏（教育長、主な説明者）

▶ 条例化の狙い こども、子育て、保育幼児教育、学校教育等のこどもに関わる全ての施策や実践において、その価値観と方向性に基軸を設け、携わる教師や保育士等おとなの意識を醸成し明確な質の向上を目指す。



▲質疑の様子

他に制定までの経緯や条例の構成、「こどもを真ん中」にした活動の実際を聞き、内容について質疑を行い研修を終了した。

モニターアンケートにお答えします

議会だより第78号(3月定例会)

多くのモニターの皆さんから、声を寄せていただきありがとうございます。
紙面の都合で全部を報告できませんが、主な意見とそれへの回答・見解です。

■ 今号の内容や編集について（表紙・見出し・写真・紙面構成など）

Q ・入学式の風景でしたので子供達に“エール”を送りたくまりました。子供たち・保護者の方の顔が今の時代では個人情報などで見えないのがちょっとさみしく感じました。

A ・子供たちの希望と期待に満ちた、子供が主人公の入学式です。しかしながら、今回は保護者の許可を得られた方のみ、顔出しとなっています。

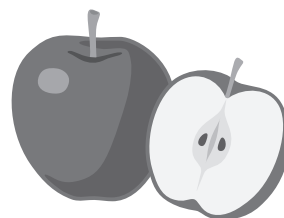
Q ・議案に対しての賛成、反対の理由を全員でなくても良いので知りたい。

A ・議案の採決の前に、反対、賛成の理由を発言するのが討論です。各議員の考えで発言する、しないは任意ですが、質問のようにできる限り議員は発言すべきと考えます。討論した議員の発言は議会だよりで報告しています。

Q ・議長不信任決議について、今回の議会だよりで初めて知った。個人的には、小さな町でも他の市町村と同じようにクリーンな議会の運営を望む。そのなかで「全国的に例をみない裁決」という言葉に、議会全体に対する信用度は下がった。また、反対討論を読んだが、町民として到底納得のいくものではない。信用度の回復のためにどのような策が適切なのか客観的な対応を求める。今後も賛成、反対、同数で採決する議会という認識を変えられる具体的な信用の回復を強く求める。

A ・議員の定数が、奇数の場合に可否同数の採決結果が出ることもあり、議長採決ということになります。
今後は、定数が偶数・14名になったことでこうしたことは欠席・棄権がない限り回避できます。信用度を高めるためにも議会改革を進め、議員の資質向上に努めていくことが重要だと思います。研修会・セミナーへの参加や、個人の研鑽が求められます。

Q ・ふるさと納税についてのニュースがありました。
飯綱町は好評とのことですが、産地偽りなど不正が起こらないよう目をひからせていてもらいたいです。



A ・今議会でも、返礼品の産地偽装問題が取り上げられました。町はしっかりとしたチェック体制を図っていくとしています。

Q

・「議会及び議員の評価で劣化を感じる」と私及び周囲の感想があります。頑張っていて欲しい。

A

・議員力・議会力をさらに高めるために取り組まなければならないと思います。皆さんの声をどしどし寄せてください。

Q

・今回、読み取るだけでは理解できないことが多くあったので、動画もできる限り見てみました。読むのと、実際の討論を見るのとではかなり摂取できる情報量が違うなと思いました。わたし自身まだ無知なことばかりなので、積極的に見て読んで理解を深めたいなと思います。

A

・ホームページで、動画も議事録も見られますので、議会だよりと併せて、ご覧ください。

Q

・子供の医療費自己負担がなくなると聞いて、子育て世帯にはありがたいです。

A

・8月から子供（18歳以下）の医療費窓口完全無料化が実現されます。少子化対策となればいいですね。

Q

・議会政策要望の町からの回答についての議論は今後行いますか。回答を貰ったら終わりではないと思いますが、議会での議論はありますでしょうか。

A

・今後の年間の中で、一般質問等で取り上げたり、委員会で議論したりで、次年度の政策要望の時点で精査し、政策要望に活かしていきます。

Q

・私は飯綱町に移住してきて、この町をとっても住みよい町と感じています。私が今、関心を持っているのは、①防災計画②人口問題③医療問題です。防災計画は、いつどんな災害が起きるか分からないだけに心配です。人口問題は人口動向によって町の全ての計画が決まってしまうと思います。それだけに若い人が住みやすい町こそが、未来に希望が持てるのではないのでしょうか。そこに注力した議論を期待しています。

A

・町は現在、第2次飯綱町総合計画の後期に入っています。指摘される問題も課題としてPDCAのサイクルで運用しています。議会のチェック機能を果たしていきたいと思っています。

■ 議会だよりを通じて欲しい情報は

Q

・町の20周年記念式典の予定・予算も多くなっているのですが、どのような式典になるのか関心を持っています。

A

・祝賀会、記念イベント、記念講演会、広告費、記念誌発行等の予算が組まれています。なんでも鑑定団・お宝への応募もお待ちしています。



あの時の あの質問 どうなった??

～令和6年9月・12月定例会一般質問答弁の進捗状況から～

Q

公園化計画を各地域へ拡大し推進することについて。

A

公園化計画の全4箇所の整備完了後、必要に応じて検討する。

継続

いいづなコネクトWEST及び旧三水庁舎跡地の整備を順次進めていく。



▲いいづなコネクトEASTのグラウンドが芝生に

Q

コンビニ交付サービスの導入を。

A

住民のニーズが多くあることを踏まえ、低コストの運用などの可能性も含めて模索していきたい。

継続

令和8年度中の運用開始。

Q

農業の事業継承が重要であるが、次代に向けて、どのような支援を考えていくか。

A

集落営農組織の設立など、地域ごとに農業の法人化を進め、法人で経営していく農業スタイルが理想と考えているので、それに向けた様々な支援を行っていきたい。

継続
検討

集落営農の法人化モデルとして平出地区を設定し、具体的な取り組みとしてどう進めていくか等について集落と協議を開始していく。



▲空き店舗の利活用を

Q

地域商工業の振興と地域経済の活性化策は。

A

特に商工業の支援策として、新たに事業を始めたい方や事業を継承する方たちに対し、現状の補助制度の内容を拡充する方向で検討しており、来年度予算に反映できるようにしていく。

実施

創業者や事業承継・拡大を希望する事業者の要望やニーズを汲み取りながら、地域経済の活性化に寄与する効果的な支援を行えるよう対応していく。

あの質問
どうなった

新しい町づくり 私の提案

第39回



議会だよりvol.77によると、次の町議会議員選挙後の議員の報酬は月額22万円で、年間では約264万円です。賞与を加えると年間約350万円と推測できます。これが14人分で、議員報酬にかかる年間予算は約4900万円です。子育て世代の親が年収400万円と仮定すれば、4900万円あれば約12人分の年収に相当します。つまり、議員定数を12人に削減すれば、報酬を引き上げつつ、転職としての魅力を保つことができるかもしれません。報酬の増額はすぐには難しくても、定数削減は議会の決定で実現可能だと思います。

子育て中の親が議員に 立候補できる条件に



飯田 安彦 さん
(芋川)

アップルミュージアムのりんご並木がとても好きです。世界各国の品種が見られ、ニュートンりんご（フラワー・オブ・ケント）は、いつか実が落ちるところを実際に見てみたいと思っています。都会から来た知人や観光客を案内すると、「こんなに多くのりんごが見られるなんて」と驚かれます。飯綱町のりんごの魅力を伝える場として、この多品種が揃った並木をもっと活かせたらと思っています。たとえば電車で訪れた方が、並木のあとに直売所や飲食店にも立ち寄れる観光バスルートがあれば、今ある資源がより活用できると思います。

りんご並木の有効活用を



飯森 則裕 さん
(福井団地)

子供を取り巻く環境は大きく変わりました。例えば、放課後の部活動が地域移行化となり、保護者の仕事の都合などでスポーツなど、やりたいことを容易にできない子もいます。また、児童クラブの利用者が増え、4～6年生は月に3度しか利用できなくなるそうです。宿題を済ませ、一輪車をしたり、カードゲームをしたり、折り紙をする貴重な時間です。保護者はとても安心して子供を預けていました。時代の流れで仕方ないかもしれませんが、しかし、親が安心して預けられる場所、子供たちだけで遊べる場所、お年寄りと一緒に過ごせるような場所。雨の日も雪の日も、誰もが気軽に訪れることができる場所を今一度、町全体で考えていきたいです。

子供たちが いきいき過ごせる 場所づくり



佐藤 由佳 さん
(普光寺)

政治(参政権)について

公民権とは、国民が持つ政治参加の権利、特に選挙権や被選挙権、公務員に任用される権利などを指します。これは、市民権や参政権とほぼ同義で使われることもあります。

公民権は、大きく分けて以下の2つの権利を含みます。

選挙権……国民が代表者を選ぶ権利

被選挙権……国民が代表者に選ばれる権利

また、公民権は、公職選挙法などによって、特定の犯罪により刑に処された場合などに停止されることがあります。公民権は、国民が政治に参加し、社会をより良くするための重要な権利です。

以上、AIによる説明ですが、10月には町長、議会議員の選挙があります。投票が政治参加の第一歩です。投票所まで足を運びましょう

—— 9月定例会予定 ——

9月1日～9月22日(21日間)

一般質問 9月4日(木)・9月5日(金)

常任委員会 9月8日(月)・9月9日(火)

79号表紙説明



先の3年に1度の参議院選挙。各党の公約が一番よくわかる時です。選挙には、貴重な一票を無駄にしないよう、期日前投票も有効に使いましょう。

編集後記

夏至6月21日ごろ。太陽が夏至点を通する時で、北半球では昼が最も長く、夜が最も短くなる。パレスチナ、イスラエルの軍事衝突、昼夜を問わず「戦い」が続いている。ロシア、ウクライナの戦争も含め一刻も早い終結を望む。(小)

編集委員

発行人 青山 弘
委員 三ツ井 忠義
委員 長 石川 信雄
委員 小林 文廣
委員 渡邊 千賀雄
委員 伊藤 まゆみ

議会だよりモニター

生の声 40

植田 麻緒さん (東高原)

イベントで活性化を



仕事柄、飯綱町で開催されるイベントに参加する機会が多くあります。新しい事業者さんや地域おこし協力隊の方も増え、さまざまなイベントが開催されるようになり、とても楽しいです。思い返せばこどもの頃は、町民運動会で駄菓子を買ったりとお祭り気分を味わえたのが印象深く残っています。町外に飯綱町をアピールするイベントだけではなく、



町民が気軽に参加して楽しめるようなイベントもたくさん開催されるようになれば良いなと思います。私がそうだったように、今のこども達が大人になったときに次の世代に繋いでいきたいと思えるような取り組みをしていきたいです。